

厳島神社に魅せられた平清盛の世界へ

(観光マネジメント人材育成セミナー「出前講座」関連事業)

第1回公開講座

■ 日 時 平成23年10月2日(日) 13:30~16:00
(受付開始 13:00)

■ 題 目 第1部「内侍と平家の伊都岐嶋別宮」
県立広島大学宮島学センター 助教 大知 徳子

第2部「厳島神社をめぐる平清盛・頼盛兄弟の微妙な関係」
県立広島大学人間文化学部教授
(宮島学センター長) 松井 輝昭

第2回公開講座

■ 日 時 平成23年10月30日(日) 13:30~16:00
(受付開始 13:00)

■ 題 目 第1部「記憶に残る平家の公達—『源氏物語』^{きんたち}享受史のなかで—」
県立広島大学人間文化学部教授 西本 寮子
第2部「清盛に敗れた男たち・・・鎮魂の能の系譜」
県立広島大学人間文化学部教授 樹下 文隆

■ 会 場 国民宿舎みやじま杜の宿
(廿日市市宮島町大元公園, TEL0829-44-0430)

■ 受講料: 無料

■ 募集人数: 130人程度

■ 申込方法

往復はがきの往信裏面に、①第〇回公開講座参加希望、②名前、③ふりがな、④郵便番号、⑤住所、⑥電話番号を、返信表面に受講される方の名前と住所をご記入の上、下の申込先に郵送して下さい。

※申込にあたってお寄せいただいた個人情報、本事業以外の目的には使用しません。

■ 申込締切

第1回公開講座 平成23年9月9日(金)

第2回公開講座 平成23年10月7日(金)

■ 申込(問合)先

〒734-8558 広島市南区宇品東一丁目1-71


県立広島大学宮島学センター

「平清盛公開講座」係

TEL082-251-9550 (直通)

申込者多数の場合は抽選とします。予めご了承ください。

《往復はがきの例》

	郵便番号	①第〇回公開講座参加希望
宮島	広島市〇区〇町〇番△号	②宮島 花子
花子		③みやじま はなこ
様		④郵便番号
		⑤住所
		広島市〇町〇番△号
		⑥電話番号

(返信 表面)

(往信 裏面)

■ 共 催: 広島県/廿日市市/県立広島大学宮島学センター/社団法人宮島観光協会/大河ドラマ「平清盛」廿日市市推進協議会

■ 後 援: (社) 広島県観光連盟/大河ドラマ「平清盛」広島県推進協議会

🍁 各回の概容 🍁

第1回公開講座

第1部「内侍と平家の伊都岐嶋別宮」

県立広島大学宮島学センター 助教 大知 徳子

厳島神社の巫女は、「内侍」と呼ばれています。平清盛をはじめ、多くの人々をひきつけた内侍の魅力とは、いったい何でしょうか。また、平氏によって都におこなわれた「伊都岐嶋別宮」の存在についても考えます。

第2部「厳島神社をめぐる平清盛・頼盛兄弟の微妙な関係」

県立広島大学人間文化学部教授（宮島学センター長） 松井 輝昭

厳島神社に伝えられている紺紙金泥の法華経・観普賢経は、平清盛・頼盛兄弟が共同して2年4か月をかけ書写した経巻です。しかし、平頼盛は父忠盛の後妻池禅尼（藤原宗子）の嫡男で、15歳の年齢差があるにもかかわらず、兄清盛に根強い対抗心を持ち兄弟仲は必ずしも良好とはいえませんでした。それにもかかわらず、なぜこれらの経巻を共同で書写し厳島神社に奉納しています。本講座では、平氏の厳島信仰史の流れのなかで、この兄弟経が生まれることになった背景を探ることにします。

第2回公開講座

第1部「記憶に残る平家の公達^{きんだち}—『源氏物語』享受史のなかで—」

県立広島大学人間文化学部教授 西本 寮子

熊野那智で入水した平維盛は、その舞姿を「光源氏のためしも思ひ出でらるる」と評されたことがあります。人々の記憶に刻まれた維盛の姿の紹介から始めて、文学作品の中で平家の時代が語られることの意味を、『源氏物語』享受史の中で考えてみます。

第2部「清盛に敗れた男たち・・・鎮魂の能の系譜」

県立広島大学人間文化学部教授 樹下 文隆



鹿ヶ谷事件で鬼界島に流された俊寛僧都、平氏打倒の軍を起こして敗れた源頼政、清盛によって栄華を得た二人の反逆と敗北は、平氏滅亡の兆しでもありました。二人を主人公とした能を読み、平家物語の思想を考えます。

県立広島大学国際文化学科4年
吉井梢さんデザインの「平清盛」